

# 有宵会だより

第60号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-64

## 九星と易断による

二十五年十二月運  
二十六年の年運

気学では子十二月  
十二月七日(大雪)節入

生氣

9	5	7
8	1	3
4	6	2

破 月

ア

天道

気学では二十六年  
甲午・四緑木星の年

天道

3	8	1
2	4	6
7	9	5

破 歳

ア・生氣

天道



### 一 白水星の人の運勢

十二月筮一山天大畜上九  
年筮一天水訟の九四

年末の気忙しさに目が舞う。日常の用事は手早く処理。仕事は筋を通すが私事は後を引く。金銭の収支は慎重に不利益を受けない用心。古い問題焦らず待つ。体調は寒さと疲労管理、腰痛対処。年運は平穩で堅実方針で臨む。前半は厄介事が生じて後半に落着く。縁故と家族の協力あれば職住安全。交際上手に家業を守る。健康面は消化系足腰、冷えと腎系に用心。

### 二 黒土星の人の運勢

十二月筮一雷風恒の上六  
年筮一山沢損の九二

十二月は前月からの停滞感を払拭、実績を上げるため気張る。仕事は熱心に取り組めば評価得て好調。家事は後半に急ぎ迫る。カード類の点検と支出慎重に。家族に思いやり、消化器、血圧注目。

### 三 碧木星の人の運勢

十二月筮一雷水解の九二  
年筮一雷風恒の初六

十二月、本年を振り返れば一段落、未処理問題は急がず後回し。ほどほどの付き合いで締めくく。仕事は始めの段取りが勝負、歳末の消費増に対処。人情に負けず冷静判断。口腔と胃腸手当を。年運は活力がみなぎるので積極傾向です。強行策は失敗のもと。信用第一の人間関係が大切、誤解や不信からの疑心を避ける知恵を持つ。体調は持病、感染症、怪我用心。

### 四 緑木星の人の運勢

十二月筮一兌為沢の初九  
年筮一地天泰の初六

十二月は時節柄慌しく

### 五 黄土星の人の運勢

十二月筮一坤為地のの上六  
年筮一地山謙の六四

十二月は吉凶半々なので慎重に。辛抱はすべてを張るより気配りで誉められる。書類やカード、印鑑の扱いは入念に。交際は復古調で旧友の協力良好。風邪熱、循環器対処。年運は目標に向け成就を願う、才気煥発な資質を生かす。公私の区別を守り謙虚さが尊い。神仏の縁あり上位の人の支援仕事や金運は手堅く処せば安定。消化器と足腰守

### 六 白金星の人の運勢

十二月筮一火雷噬嗑六二  
年筮一風山漸の上九

十二月は自重運、義理を欠いても休養を。規則的な生活で平運を保つ。些細なことを詮索しないで寛容に。付き合いは後手、金運は不調気味、うまい話や落とし穴商法用心。冷えと風邪、足腰に対処。年運は社交性を生かし人脈広げ吉。諸事に損して得を取る。平穩に過ごし本業以外に手を出さずが安泰、楽しみは身近にあり、愛情面は豊かに表わす。運動不足と腰手当。

### 七 赤金星の人の運勢

十二月筮一水山蹇の九五  
年筮一水沢節の六三

十二月は堅実方針、仕事面は渋滞気味で益少ない。親類や知人との交流は大切に。わが家の整理等やりがい多し。何事も勤労意欲を高め無駄な出費を省き、欲の深追いは避ける。胃腸と関節用心。年運は温故知新、向上心が大切で良い種は良い芽を出す。多岐にわたる仕事で自己過信にならず和が大切。公私に改革の気運へ信念を貫くこと。呼吸器や不注意怪我用心。

### 八 白土星の人の運勢

十二月筮一水沢節の初九

十二月は自重運、上に立つより下から支える。聞く耳あれば吉。我を強らず誰にでも柔軟に接するのが賢明。何事にも小さな変化がつきもので上手に対処。苦あれば楽ありの方針。健康維持研究を。

年筮一山天大畜の六五

十二月は氣力、活力が旺盛になり忙しい。忙中閑ありで展示見学の楽しみ、賀状の手配早目に処理。新旧交替のムードに乗りストレス解消を。まず知恵を生かし生活充実で人氣高。風邪足腰用心。年運は理想と現実の違いを調整、一年の計を決める。好機到来を捉えて歩みゆく。前年の経過を継続し今年新しい視野知識を伸ばす。交際は律儀に健康面は若返り対策。

### 九 紫火星の人の運勢

十二月筮一水風井の六四  
年筮一山雷頤の六三

十二月は喧騒の中に過ごしそう。人間関係の和を図り滑らかに。外出先での不注意を避け安心を。朗報が続き喜びに沸く。家庭は円満さに甘えて良いとき。金銭は緩みがち。体調は良好で年末を越す。年運は自重運、上に立つより下から支える。聞く耳あれば吉。我を強らず誰にでも柔軟に接するのが賢明。何事にも小さな変化がつきもので上手に対処。健康維持研究を。

福田 有宵

### 九月有宵会報告

森 千紗

九月二十八日(土) 松戸商工会館に於いて、NPO 法人岳易館・有宵会例会が開催されました。

今回は綾瀬から松戸へ会場が、変更されておりましたが、多くの方に、ご来場いただけました。

司会進行は、佐藤宗弘先生です。

第一部 福田有宵理事長ご挨拶

第一部 全日本運命学会相談役 豊山勝麗先生のご講演

#### 第一部



七月二十七日から延べ日数九日間に渡り、世界の平和を願い大翡翠で創られたお釈迦様が、岩槻大師様にご奉安されました。日本での開催は、おそらく最初で最後だと思われる。その期間NPO 法人岳易

館・有宵会では、無料鑑定会を実施いたしました。出場者三十二名、鑑定人数は五二五名でした。志納金二十一万五千二百四十七円は、スリランカの学校建設費用として寄進いたしました。岩槻大師様は、真言宗のお寺で不動様と龍神様が一体となっており、鑑定会後、ある生徒さんがご住職様とスリランカのお坊様と並んで写真を撮り、後日見せていただいた所にそこに写っていたお線香の煙が波の象で、まさに龍神様の姿で大変驚かしました。龍神様が現れるという事は、スリランカの皆様のお手伝いを、させていたいただいた事を、喜んでくださったのではないかと考えた次第です。

本年は、異常気象とわりわけ大雨、洪水の被害が多く発生しております。九月には、千年の都といわれる京都も洪水により、もう少して渡月橋が流されるのではないかと思える程、川が氾濫しました。本年は五黄中宮で水は次宮にあつて収まる所へ落ちて、おいてるのではないかと、そういう風にとれば水の安泰というのが言える訳ですが、八月は年月が五中揃います。年月が揃うと、混じり気がない象意が現れてきます。他の月では、年と月の意味が組み合わさって色々な現象を呼び起こす訳です。九月は、四中の月で巽宮に三碧の暗剣、そして坤宮に一白でした。坤宮の平地に一白が回座すると、どういった洪水の仕方が現れるだろうか、その定位である二黒は破を持っていきます。この二つを見て大変な事が起るのではないかと思いましたが、この様に一ヶ所だけでなく二ヶ所結びつけて判断が出来ます。その他五中の時、起りやすい事象は大気汚染・土壌が変るといふ事で細菌の繁殖・風土病等が生じやすくなります。

数年前からの社会事件、国際情勢等が大変、変わってきています。異常気象も人的な要素が高い。今後は世の中非常に変わってきます。地球規模で次第に変化していきます。そこをしっかりと触れなおし、影響を及ぼす所を是非皆さんも調べていただいて、お互いに研究して

いきたいと思えます。

#### 第二部



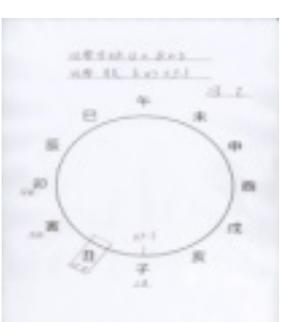
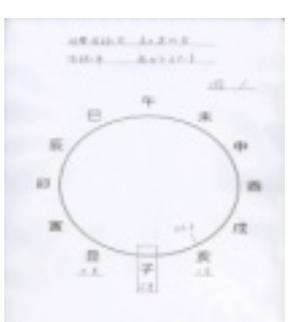
鑑定歴五十年以上の実績を、お持ちの豊山勝麗先生に講師としておいでいただきました。豊山先生は、旧暦を用いた占法を実践していらつしやいます。旧暦の干支、九星から導いた結論をそれぞれ占法に加えていただきますと、鑑定時より幅広い判断が出来るのではないかと思います。

旧暦生まれ月支を求めます。生まれ年の亥の月を1月子を2月と数えます。旧暦2月2日の方なので2月に該当する子が旧暦生まれ月支になります。

図1参照  
旧暦生まれ日支を求めます。

旧暦生まれ月支の子から1日、丑を2日と数えていきます。2日に当る支が丑になるので旧暦の生まれ日支は、丑になります。

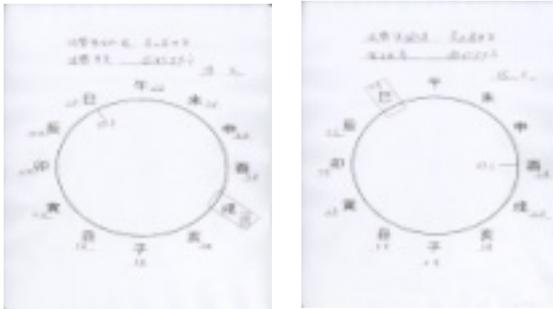
#### 図2参照



九星が、そのまま旧暦の天干と九星になります。昭和10年3月6日生まれ、旧暦2月2日の方の旧暦干支と九星は、左記のようになります。

占例2  
昭和32年11月21日正午生まれ  
九星はフライドが高い、うつつ、ノイローゼ、喉、口、鼻、目、耳、頭に気をつけてください。

年 丁酉 七赤金星  
 月 辛亥 八白金星  
 日 丁酉 九紫火星  
 時 丙午 三碧木星  
 旧暦は9月30日  
 旧暦生まれ月、生まれ日  
 の支を求めます。



旧暦月支は生まれ年・酉を1月としてスタートし9月に当る所が巳になります。

**図3参照**

生まれ日支は、旧暦月支の巳を1日、午を2日と数え辰が12日になり、2回転させれば24日、次に巳を25日、午を26日と数え30日に当る所が戌である事が解ります。

**図4参照**

万年暦で生まれ年、昭和

32年のページを開き旧暦月支巳と日支戌の月盤を確認します。

昭和32年11月21日生まれ、旧暦9月30日の方の旧暦干支と九星は

生月 乙巳 五黄土星  
 生日 庚戌 九紫火星  
 になります。

この方は、時間に午を持っていて、午を年月日時いずれかに持つていればラッキーガールといえます。五福を持つて生まれてきており必ず億万長者になります。午は、男の子が生まれる確立が高い。戌は早子養難といつて最初の子が育ちにくい傾向があります。

また五行で見ると、子供の座である土がないので良い子供に恵まれても、子供の徳がない為、あまり子供を当てにしない考え方をした方がよいでしょう。年の酉、旧暦月支巳を見て金局三合、丑方位の旅行お参り等に行かれるのもお勧めします。

風水学では、男女で異なる本命卦を求め占うのが基本とされており、風水学における本命卦につきましては、別添の資料でご確認いただき、ご活用下さい。

豊山先生は鑑定時、お客様に不足している五行の色の糸を、その方の生まれ年の硬貨に結びお守りとして、お渡ししているそうです。先生の細やかなお心遣いに感心いたしました。

旧暦の求め方、運勢の読み方、相手の状況に応じた対応の仕方等を懇切丁寧にご教授いただきました。

紙面の関係で一部内容を割愛させていただきますが、ご容赦くださいます。

最後に福田理事長より

豊山先生は、対話をしながら相手の問題点を答える鑑定をしておられます。先生の講演は声が大きく説得力がありました。本日は、五行の回り方、気学の先天と後天組合せでの貴重なお話を下さり、興味深く拝聴いたしました。

次に病占についてお話がありました。

先日、教室で顔色のすぐれない生徒さんがおり事情を聞いた所、肩こりがヒドイとの事でした。

その生徒さんの、10月筮は雷沢姉妹九四でした。原因は震で胃の具合が悪

いとところから来ている。

345爻の坎に胃の具合が出ています。姉妹は、少なくとも3ヶ月前から調子が悪かったが、本人が手当てをせず放つておいた状態であった。症状としては、食欲不振、突き上げる様な胃の痛みが出ている。伏卦地沢臨で10月の節変り過ぎれば回復してきます。11月筮は天火同人九四です。

社交性が出て外出しようという気持ちが出てきます。伏卦風火家人で家の用事も出てくるでしょう。人との和、家族への思いやりがほしいですね。

豊山先生、福田先生、本日は大変有意義な講演ありがとうございました。

森 千紗



**易占の占例**

今平 乾象

いつも杖をついて歩いている、太ったご婦人、

お友達に支えれ二コ二コしている方。

ある日、手術がやっと決まったと言つて喜んでおられたので、手術の成り行きや如何にと占筮いたしました。

沢水困の九四 坎為水へ之く卦に、どの様に読むか大変に苦心をし、

『期待しているように結果が出ないのでは』と大変心配してしまい、福田先生に、この卦の読みを聞いた事があります。

先生は右足腰ですか？左でしたか？と問われ、自分はそこまで調べておらず、筮前の審時の甘さを知らされました。先生は左足なら、良くなりますよ、この方は両方の足を手術することになりましたね！と教えていただきました。

私が最初に占筮したのは昨年十月の事、その後その婦人と今年の一月にお会いできて、左足の手術は成功し今度は右足をこの三月にしてもらえると嬉しそうにお話してくれました。

『九四の爻辞は、来ること徐々。金車にくるしむ。吝だれども終わりあり』十月四日に杖なし

で歩くあのご婦人を見かけ、嬉しくなりつい声をかけてしまいました。うれしい結末になった、ヒヤリヒヤリの実占例ですが、様々な読み方を実践の中で学ぶことになった例です。



もう一例、病占です。妻の所に来談に見える男性(六十六歳)の方、

6か月前頃にMRIを受けた時、黒い斑点状のものが目の奥にあるので眼科に行きなさい、と言われていたが、父親も失明していたので、怖くなくて行つていなかった。最近になって右目が見えにくくなって来ているので、目の手術をするべきかを迷っている、またその経過を知りたい。

私が妻に代わつて占筮致しました。

山沢損の五爻変をいたし、だき風沢中孚となります。交易生卦であり、泰から損になり、中孚に至る。中孚は大離の象で眼を示している。多少のお金はかかっても目は見える

よくなるから安心して手術を受けても大丈夫ですよ！』電話で妻が伝えました。

しかし、動爻が外卦にあり、左眼になる？良が異になるのは何だろう？心配で、今回も福田先生に教えを乞いました。

先生はやはり、交易生卦を取り、大離の象も取っていました。

但し交易生卦の読み方の中で、もともと泰卦の乾が兌に変わる事を見て取り、右目が欠け始めていると読んでいました。読み方を改めて学ぶこととなりました。

先日、その方がお見えになり、オランダ旅行のお土産を持参で来談に来てくれました。

眼が良くなってくることは明白ですが、その眼科医の処方箋と云いますが見立てがビックリ、目に悪いバイ菌のような物が繁殖していて、その菌を取り除くことで手術すること無しで良くなったと云つ事です。

私が悩んだ外卦の良から異、すなわち異のなかには風に乗って入り込むバイ菌のウイルスが卦に出ているのではないか。

六五の爻辞は、或はこれを益す。すみやかならしむれば喜びあり。咎なし。病占は難しく、先生の云う「病占の基本は相手の不安を解消することが鑑定者の務めです。」が如何に大切かを思い知らされた実占でした。

今平 乾象

三鷹国際フェスティバル参加記

伊藤 璃香



九月二十二日(日)井の頭恩賜公園で、世界各地四十八ヶ国参加のもと多くの催しが行われました。当日の入場者数は四万五千人の由。私たちがブースは東南アジアエリア、隣からの良い匂いが漂い食欲を刺激する。鑑定開始は午前十時。有宵会六名、佐藤理事の生徒さんを含めて計十四名での出演です。和やかな会場の雰囲気と好天に恵まれ、快調に進みます。国際交流なので、言葉の

通じないお客様が見えたらどうしようと不安に駆られました。佐藤理事門下に以前英語教師をされた方がいらして「英語鑑定」。事なきを得てほつとすると同時に、多様な対応が要求される時代になったことを痛感するところしきり。

鑑定の内容は各先生方それぞれですが、多かつたのが時代を映してか「仕事」、以下「健康・運勢」でした。中には「DV」のトラウマに悩む方のような重い例もありました。

福田先生の前には長い行列。先生目当ての男性は、一番乗りで開演前から待っておいででした。やはり何かが違つたのでした。

人それぞれの人生を垣間見る、机上に学んだ学問的な占いの知見を、改めて対面しながら生かす鑑定。家には判らない世間の生きた勉強です。余人には言えない悩み、苦しみ、悲しみを口に出せたことにほつとして涙ぐむ人など、心の触れ合いには大きなものを教えて頂けます。大小に拘らず、人毎に重荷がある筈

助け合い分かち合える喜びは大きいと、心から思えます。悩みが少しでも軽くなつて欲しいとの願いからのお手伝いで、改めて責任の重さを感じます。もつともつと勉強を生かさなければ、との思いを新たにしているところです。

当日午後からはテントの中に西日が差しこみ、暑さに辟易する鑑定でした。

少々残念だったのは、盛会の会場内を歩き回れなかったこと。私たちの終る時刻には、他のテントも店じまいです。

楽しく意義のある一日を無事終了しました。

伊藤 璃香

「陸奥の古社寺巡り」有宵会研修旅行を終えて

伊東 直子



秋晴れの朝、上野公園口で福田先生のほかほかニコニコのお出迎え。バスを探しながらとことこと歩くと「1105、

今日の日付のナンバープレート」近づいて見るといつもの東都観光。なんて素敵なお縁でしょう！足してみれば「七」になり「兌」だし「チャリオット」だし、なんてあれこれ思いながら乗車する。

さらにステップの側面がエジプトの壁画のようになっていて、こんな所にも気を使っている事が嬉しい。快走するバスの中、「闇魔様に舌を抜かれる話

本当は舌に釘を打つという。四十九本の針云々と、福田先生の心地よい眠気を誘う声が聞こえてきます。夢の中の方々もおいでですが、私は眠気よりも興味心のほうが強く、話に聞き入りました。

なんて贅沢なひとときでしょう。定義如来・秋保大滝で癒されて、宿に到着。

その後、温泉もゆっくりたつぷりの「極楽」を体験し、命の洗濯ができました。

ようやく十一時頃にあの美肌効果を期待して、賑やかに試飲タイム。しかし、その後三時頃までおしゃべりが続き、効果の程は判らずじまい。



さて、ここは秋保温泉「佐勘」の一室。お茶会がいきなりの盛り上がり

をみせた。美肌のためのカラーゲンの講習会が始まったのである。プレゼンターの口上が面白い。ガマの油売りの様な張りのある声、絶妙な間の取り方のその話ぶりに引き込まれる。

一通りの講習が終わり、試飲は睡眠中に効果があるので就寝前が良いということ一時中断する。御待ちかねの夕食会では、まさに「おもてなし」の料理の数々が並んでいました。宿の方々の心遣いを存分に味わい、さらに皆様のサービスピ精神大せいの歌や踊りやお笑い交じりのカラオケも満腹でした。「ごちそう様。

その後、温泉もゆっくりたつぷりの「極楽」を体験し、命の洗濯ができました。

その後、温泉もゆっくりたつぷりの「極楽」を体験し、命の洗濯ができました。

今回、旅行の参加理由の一つに「被災地への思いがあります。

そこは、学生時代の一入旅で大自然の中の小さな自分の存在に気づかせ

てくれました。  
 何も解らず無心で登った  
 安達太良山、みる度に表情  
 が変わる阿武隈川、危機  
 一髪で脱出した入水鍾  
 乳洞、自ら作った草鞋を  
 履いて歩いた奥の細道、  
 地酒とウミネコと静かな  
 夕日の宮古の海、素朴で  
 穏やかなひとたち。

沢山の思いをかかえなが  
 ら、震災後に、一人で訪  
 れる勇気が無いままに来  
 てしまいました。改めて、  
 この旅行に参加させてい  
 いただいたことに心から感  
 謝いたします。  
 素朴な狛犬がお迎えして  
 くれた塩竈神社では、厳  
 肅な気持で正式参拝を致  
 しました。直感と決断、  
 そして道標を示していた  
 いただいたと思います。  
 その後の塩竈市役所への  
 寄付は願っても無い事  
 だったので、感動しました。  
 ありがとうございます。  
 学びが多く、充実した二  
 日間に感謝致します。

伊藤 直子



有宵会旅行に感謝

半田 晴詠

理事長福田有宵先生の  
 ご引率にて、当日朝の易  
 の得卦天火同人の示す通  
 り、皆様と心温まる楽し  
 い二日間の旅が出来まし  
 た。

神仏に抱かれて  
 今風に聴く  
 森羅万象いにしえの声

定義如来にて

夕焼けに染まりて

落ちる大滝の  
 水の白さに心洗われる

秋保大滝にて

我よりも年を重ねし

師の背を  
 見つつ上りし神々の杜

塩釜神社にて

願かけて病の友に

延命の  
 塩贖いし神宿る宮

塩釜神社にて

旅の気に浮かれて

歩むその前に  
 記憶を覚ます津波の

碑あり

松島にて

田畑も人住む家も  
 のみこみし  
 津波は何処に  
 静かなる島

松島にて

門前で止まりし津波を  
 『ご加護ね』と  
 微笑みて言つ  
 土産売りの子

瑞巖寺にて

沢山の感動と不思議な  
 体感と巡り合わせの旅で  
 もありました。有難うご  
 ざいました。 合掌

日本の『元号(年号)』  
 の起源について

大川 法祥

以前から気になってい  
 た年号が昔は『一世一元』  
 でない事が疑問でした。  
 それに明確に答えてくれ  
 た本に今日出逢い大いに  
 納得、嬉しくて要所を纏  
 めました。

元号の起源は大化の改  
 新の時からで、大化元年  
 は西暦六四五年です。こ  
 の年、我が国最初の『大  
 化』と云う元号を制足し  
 都を難波に移しました。  
 古代中国の影響ですが、  
 中国では天変地異や、世

の中が乱れたりした場合、  
 同じ帝王の治世であつて  
 も、年号が改められ、心  
 機一転をはかる意があつ  
 た様です。古代中国にお  
 いては帝王の治世の時代  
 の年数を数える為又他の  
 帝王の治世した時代と区  
 別する為に便利な元号  
 (年号)考えられたので  
 す。

このような影響を受け  
 て『大化』と云う年号が  
 生まれ三十六代孝徳天皇  
 は改新後の政治に携わり  
 ました。この一連の政変・  
 改革を大化の改新と云い  
 ます。

三十七代斉明天皇は元  
 号を使わず三十八代天智  
 天皇も元号を使わなかつ  
 た。この様に天皇が変わ  
 っても元号は変わらないと  
 いうケースはいくつかあ  
 りました。

『一世一元』制の歴史

以上の様な歴史を経て  
 『一世一元』が確立した  
 のは明治からであります。  
 長い日本の天皇の歴史の  
 上ではこの『一世一元』  
 制は極めて新しく、短い  
 期間だと云えます。

明治為政者達は天皇中  
 心の国家体制を築き上げ  
 ようとしました。日本は  
 世界でも例を見ない国、

天皇が納める国なのだ  
 という大きなキャンペーン  
 を繰り返し天皇のもとに  
 国民を結集させるとい  
 う統治を行いました。こう  
 して立憲君主国『日本』  
 が完成したのです。

然しこの『万世一系』  
 を誇った『天皇の国家』  
 は僅か七十七年で『民主  
 国家』に変貌せざるを得  
 なくなつたのです。

天皇は統治権を失  
 『国民統合の象徴』と云  
 う事になつた訳で、勿論  
 『元号』に対する法的保  
 障もなくなりました。し  
 かし『元号法制化』に熱  
 心な人々による運動が功  
 を奏し『元号法』は制定  
 されました。

天皇をとりまき、国民  
 から隔離し、天皇陵の学  
 術調査を阻む人々の『論  
 理』迄俎上にのせた内容  
 の本、天皇家について知  
 ておきたい事が網羅され  
 ている素晴らしいマニユア  
 ル本に魅了されました。

年号『平成』の

発案書 安岡正篤

ふと立ち寄つた本屋さ  
 ん、立並ぶ多種多様な本  
 の中から手にしたのは  
 『昭和教祖安岡正篤』文  
 芸春秋刊の一冊、開いた  
 頁目に飛び込んで来たの

は、予期せぬ年号の記事  
 でした。先日から気にな  
 った調べ上げた年号の事が  
 更に新しい『平成』の意  
 味を語っていました。驚  
 きです。

改元は、元号法に基づ  
 いて、皇位の継承があつ  
 たときのみ行われる。元  
 号法には『元号は政令で  
 定める』と規定されてい  
 る。天皇ではなく、政府  
 の責任で決めるものであ  
 る。

元号問題は昭和39年  
 竹下氏が官房副長官だつ  
 た頃、総理の佐藤栄作氏  
 から『崩御を前提にしな  
 いで手続きとして考えて  
 みたらどうか』と指示さ  
 れ、その後十五年たつて  
 昭和五十四年、大平内閣  
 で元号法が出来た訳です。

その手続きに従つて安岡  
 氏をはじめ、多くの学者  
 の方に元号の候補を作つ  
 て頂き、封をして官房長  
 官の金庫にしまい込んで  
 おいた。その中には似た  
 ものもあり『平成』と云  
 う元号を選んだと竹下氏  
 は初めて安岡氏が新元号  
 の考案者の一人だった事  
 を認める発言をしました。



『日本怨霊』

大森亮尚著

……を読み終えて驚くべき隠された歴史の裏面。

日本の長い歴史を振り返り、そのほんの一部分を垣間見ると、古代史から隠された死者たちの諸々の怨念が蠢いている実相が生々しく、想像を絶する驚異の極みでした。

特に万世一系と信じられている天皇家の系図を知れば知るほど、皇位継承や体面を巡る、おぞましくも壮絶な争い、それにもまつわる怨念の根源さに身震いを覚えました。いわれも亡き密告で一族を全滅に追い込んだり（長屋王の変）聖武天皇と光明皇后の御子基皇太子が生後間もなく没した後に入れ替わる様に誕生した、ただ一人の異腹の王子、安積皇子（天皇の第一皇女井上内親王の弟）が行幸の途中、十七歳の若さで急逝するという謎。目障りな存在の皇子暗殺説も浮上します。

された井上内親王（後に光仁天皇妃となる）他戸親王（息子）早良親王（桓武天皇の弟）の無念の死は、聖女の呪い皇太子の怨念となつて怪異現象を起こしていったのです。近代合理観で考えれば死後の例が祟つたりする事は無い。有るとすれば不幸な死に追いやつたという罪悪感が怨霊ではないでしょうか？

鎮魂の思いを込めて……皇位継承をめぐる紛糾も過去の歴史の世界とは限らず、今もなお皇位継承の複雑な課題を抱えています。天皇家という独自の存在の歴史、古代史を裏側から見ればあざなえる縄の如く吉凶運命が息づいています。

井上内親王は奈良朝の栄光を担った聖武天皇（首皇子）を父とし、県犬養広刀自を母として生まれました。実は首皇子は井上内親王が生まれた翌年、養老一年に他の女性にも女兒を生ませています（後に孝謙天皇になる阿部内親王）母は藤原不比等の第三女後の光明皇后。光明子から見れば目障りな存在が

井上内親王でした。藤原一族にとつて邪魔なる皇女を遠ざけておくのが得策だと伊勢斎王として、伊勢神宮に送り込むという合法的な『島流し』？で十一歳になった井上内親王は神龜四年（727年）斎王として伊勢神宮に派遣されます。天平十八年、長い伊勢斎王の任が解かれた時は三十路の坂に差し掛かつており、やがて八歳年上の白壁王（天智天皇の孫、うだつの上がらぬ酒乱）皇位継承争いに最も縁遠い天智系の老皇子に縁付かせました。藤原氏の策略は相手を叩き潰すだけでなく、恩を売って政敵をおとなしくさせる戦略を持つていました。井上内親王が伊勢斎王として皇祖神に奉仕している間に皇位や政権をめぐる激しい争いがあり弟の安積皇子は若死にし、妹は身分を剥奪されてしまいました。天平勝宝五年二十七歳になつていた井上内親王は四十

五歳の白壁王のもとに正妃として迎えられ、人並みの幸せを得ました。白壁王も二十年間、酒浸りの異界に暮し、凍結されていた身分が一気に氷解

され、出世の階段を駆け上がり始めました。まさに正妃井上内親王の内助の功と言えるでしょう。然し二人の結婚生活について正史は何も伝えていません。皇位継承をめぐるすさまじい暗闘は女帝称徳天皇を三度も呪詛。然し観世音菩薩のお加護や神通力で露見したと『続日本記』に伝えられています。（称徳天皇は孝謙天皇が再び天皇に即位・重祚）次回号に続く

NPO通信

賛助金として左記の方々からご寄附を戴きました。有難うございました。（敬称略・順不同）

- 福田有宵（二回）・安藤忠男（二回）・久保田恵都予・野路さくら・岩崎紀子・森千紗・美園環希・牧野有峰・高田玲照・山下チズ子・紫百希・八川林加

九月二十二日（日）第二十四回三鷹国際フェスティバル無料鑑定会に参加し、出演者十四名、鑑定した相談者は百四十二名でした。

十月五日（土）・六日（日）、第四十回「まつどまつり」で、恒例の無料鑑定会に十五名が出演

し、二日間で二百五十四名の方を鑑定しました。



十一月六日（水）、有宵会研修旅行で、東日本大震災義援金としてお預かりした金四十三万円を塩竈市役所財政課に納めてまいりました。



このお金は、旅行参加者四十名と他十九名の方から頂戴しました。皆さまのお名前は別紙でお配りします。

事務局

事務局だより

今回の例会日時 平成二十六年一月二十五日（土）

午後一時十五分より場所「足立区勤労福祉会館ブルミエ」（終了後に新年会を予定）

講義 「平成二十六年個人の年筮並びに一年の見通しと解説」

福田有宵先生 先日、恒例の研修旅行は「陸奥（みちのく）の古社寺巡り」で、天候にも恵まれ穏やかに心休まる有意義な旅でした。

「一の酉」の長国寺さまには百五十数名の方が参拝されました。

今年も想い出が沢山出ましたが、世情・気象とも不安定なこの頃です。皆さまにはお気をつけて明年もご健勝でお過ごし下さいませようご祈念申し上げます。来年二月頃に「初詣」を予定しています。早目のご挨拶とはなりません。今年も一年間有難うございました。

九月の例会には六十五名の方が参加されました。

事務局 伊藤璃香